

大動脈弁位人工弁による大動脈複合体（冠動脈、左室流出路を含む）への影響についての検討

1. 研究の対象

心臓病センター榊原病院で2023年10月以降に大動脈弁疾患に対して外科的大動脈弁置換術を受けられる方。

2. 研究目的・方法

大動脈弁疾患に対する治療は外科的大動脈弁置換術（AVR）および経カテーテル的大動脈弁植込み術（TAVI）が選択可能となっているが、平均寿命の延長により弁の耐久年数を迎え再手術が必要な症例が一定数存在します。

再手術においてもカテーテル治療が適応となり高齢者に対する治療の選択肢の一つとなっていますが、一定の解剖学的な条件を満たす必要があります。

先行研究では AVR 後に冠動脈入口部が心尖部方向へ偏位するとの報告があり、冠動脈閉塞のリスクによりカテーテルによる再手術が不可能な症例が存在します。

本研究の目的は AVR による冠動脈を含めた大動脈複合体の形態への影響を検討することで、将来的な再治療も踏まえたより適切な手術戦略を明らかにすることです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテから得られる情報、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：心臓血管外科 高田 善章

研究責任者：心臓血管外科 平岡 有努